

平成30年度 後期 岩手大学大学院博士課程研究遂行協力員制度
募集要項
[在學生用]

1 目的

岩手大学大学院博士課程研究遂行協力員制度は、優秀な博士課程学生を研究遂行協力員に指名し、学業を奨励するとともに、本学の学術研究の質的レベルの向上を図ることを目的とする。

2 研究遂行協力員対象者

研究遂行協力員の対象者は、本学の大学院博士後期課程の学生とする。ただし、休学者、国費留学生、RA（リサーチ・アシスタント）採用者及び日本学術振興会特別研究員は応募できません。

また、留年者（休学による者を除く）も原則として応募できませんが、本人の責によらない事由により留年せざるをえない場合は、主任指導教員（主指導教員）が確認・作成した「理由書」を併せて提出することにより申請を受け付けます。「理由書」の様式は、必要な場合にのみ別途配布しますので、申し出下さい。

3 申請方法

連合農学研究科学生で研究遂行協力員を志望する者は、次の注意事項に留意し、「研究遂行協力員計画書（様式1）」に必要事項を記入のうえ、**平成30年8月24日（金）**までに連合農学研究科事務室へ提出して下さい。【期限厳守】

注意事項： 計画書の様式は、岩手連大ウェブサイトに掲載しています。
計画書の様式は改変しないこと。必ず平成30年度後期の指定様式で作成のこと。
指導教員と事前に相談のうえ、“計画書として完成した書類”を提出のこと。
計画書の所定の欄に、指導教員の確認印が必要となります。
確認印のない書類は受け付けません。

4 選考方法

計画書受理後、各研究科による審査を経て、大学院委員会で選考し、決定します。

5 研究遂行協力員への支援

当該学期授業料の半額を免除します。（平成30年度後期分授業料の半額を免除）

6 研究遂行協力員報告書の提出

平成30年度後期に研究遂行協力員に採用された場合は、次の注意事項に留意し、「研究遂行協力員報告書（様式2）」を作成し、**平成31年3月8日（金）**までに学務課総務グループ（岩手大学学生センター 番窓口）、又は連合農学研究科事務室へ提出して下さい。【期限厳守】

注意事項： 報告書の様式は、岩手連大ウェブサイトに掲載しています。
計画書の様式は改変しないこと。必ず平成30年度後期の指定様式で作成のこと。
採用学期末にこの報告書を提出しなかった者に対しては、次学期の申請を認めないことがありますので、期限厳守で必ず提出して下さい。

7 その他

- ・申請者は、選考結果（11月下旬）が確定するまで、当該学期の授業料が徴収猶予されます。
- ・授業料の納付方法は「一括納付」ではなく、「半期ごとの分割納付」で手続願います。
- ・通常の授業料免除と研究遂行協力員の両方に申請することができます。
- ・RAと研究遂行協力員の重複採用はできません。RA希望者も研究遂行協力員に申請することは可能ですが、RAの採用が決定した時点で研究遂行協力員の申請は取り下げさせていただきます。

問い合わせ先

学務部大学院・専門教育課	TEL 019-621-6308	E-mail : grikei@iwate-u.ac.jp
連合農学研究科事務室	TEL 019-621-6247	E-mail : rendai@iwate-u.ac.jp